

とんぼ だより

第78号
令和6年
3月15日発行



令和六年介護報酬改定を 前に思うこと…

介護保険が始まって二十四年。介護というものが、家族だけの問題ではなく、社会全体の問題として捉えられ、「その人らしく」「住み慣れた場所で」「暮らす」…「パーソンセンタードケア」の考えのもと、ゆとり時間をかけ浸透してきたと思います。まだまだ、充分ではない現状があり、「住み慣れた場所で、安心して暮らす」ための、創意工夫は、行政、サービス事業者、地域、家族、利用者ご本人、それぞれから紡ぎ出される必要があります。

公的な制度の介護保険ですが、これからの時代、それだけに頼って生きるの、あまりにも、危険な事のように思います。

二〇二五年、団塊の世代七十五歳以上が総人口の二割を超えます。それを支える、生産年齢人口(十五歳～六十四歳)は少子化の影響もあり、減少の一途をたどります。現在の試算では二〇二九年には六割弱、二人で一人の高齢者をみる試算になります。

ともすれば、介護に従事する担い手自体が、社会から少なくなるといふ事実は否めません。その為に、国は、離職者率を減らすための処遇改善や、ICT化、ロボット、外国人介護従事者の受け入れ等、人手不足を補い、働きやすい環境整備を行うよう働きかけています。

四月からは、あらたに介護報酬が改定され、基本報酬の見直し(地域密着型は1.4乗せ)の上乗せ)の他、業務継続計画未策定事業所に対する減算(所定単位数の〇.〇%相当)や高齢者虐待防止の推進(防止措置未実施減算)、処遇改善の見直しなどを行うこととなります。

改定の都度、サービスの向上が図られればいいのですが、即時還元というわけにはいきません。

サービスの質の維持と向上は絶対ですが、その質を維持するためにも、絶対的なマンパワーが必要です。

大災害や、感染拡大に見舞われたとき、いざの時の備えとして、自助の力を育み、地域の底力(互助)や、公助の力を育むことも必要です。

与えられるものをよしとするのではなく、「必要な物は何か」を考え、声に出していく事もこれからは必要になるのではないかと思います。

2月の壁面は幸せの鳥？



模造紙に空と木の絵を描きます



利用者様の
手形を取って、
かわいい鳥が
できました♡



「介護マフ」ってご存知ですか？手を入れて、ふんわりほっこり筒状ニットの事です。イギリスの病院や高齢者施設で認知症ケアのために使われていて、手を入れると暖かい、飾りを触って楽しみ、ほっと落ち着くと言います。さらく会でも手が冷たいとおっしゃる方に使って頂くと、気持ちいいとうとうとされていきます。

ただ今、2つ目を作成して頂いています。

介護マフ

立ち上がって
「姫」
狙います！



そろそろ、アクリル板を取っ払って、麻雀や、坊主めくりをはじめられています。久しぶりに、大歓声が聞かれましたよ！



麻雀、坊主めくり

《はじめの だい いっぱい*食事編②》

前回77号で認知症の症状として、食事が困難になるという話をしました。

①目の前のものが何かわからない(認知機能の低下、視野の欠損など)

②口腔内の違和感(義歯の不具合、虫歯、歯茎の腫れ等から噛むことが難しい。)

③咀嚼・嚥下の機能低下(飲み込む機能、筋力が低下)

④食欲、意欲の低下(活動量の低下により食欲がわかない。栄養低下や水分不足による意識、気力の低下)等…。そこで、今回から、シリーズで、具体的な事例を紹介していきます!

①わかる工夫をする。可視化重視の提供

・食材が映える器を用意。
白和え等の白いものは黒っぽい器。緑黄色野菜は白っぽい皿など対比配色を意識する。

・お盆などで、自分の領域を把握。
テーブルに直置きすると、自分の領域がわからず、隣の方の器に手を出してしまわれることがあります。また、机の傷などを食材と勘違いしたりすることがあるため、ランチョンマットやお盆で「これがあなたの分ですよ」とわかるように提供します。

・お箸が向くところに、器を置き直します。
姿勢や、視野の加減で、右上ばかりに箸が向くという方には、そこに皿を置いて、食べやすいように提供します。



季節の行事

～書初め～



～ 手作りいろいろ de 節分気分♪ ～

～手作り団子のおぜんざい～



鬼は外!福は内
今年も厄除け
できました♪



【編集後記】
今年はお正月から、能登で大震災があり、本当に心が痛みます。利用者様の中には、能登のご出身の方が何人かおられるので、故郷の事を思うとともにもつらかったことと思います。ちょうど、BCP作成に向けて動いている所で、だけどこれほどの地震が来たら、どうなるのか? 途方に暮れるばかりです。そんな中、今年も花壇に植えて下さいました。← (ト)

～味噌作り～



みなさま、興味津々! 子どもの頃、かめに「ソ」って投げ入れて手伝った覚えがあるわ! 楽しい、楽しい! 『これが味噌になるのか!』 等等、初めての体験に心躍るひと時となりました。
さて、この味噌は一休み: 秋にお目見えする予定です。お楽しみに♪
お手伝い頂き、ありがとうございました。

～お点前～



季節に合わせて
たくさんのお茶
碗を持って来て
下さいます。
好きな器を選んで
至高のひと時

～陶芸～



絵付けに挑戦!
勢いよく枝を描いたら『桜の花』を繊細に乘せていきます。出来上がりはちょうど、桜の時期の予定です。

特定非営利活動法人きらく会
気軽に集えるミニデイサービス



きらく会

枚方市長尾家具町3丁目4-6
電話/FAX 072(836)6006
http://www.kirakukai.com



カリフラワーかと思いきや
なんと! ロマネスコ!
早く大きくな～れ\(^o^)/